

4A-9

昭60建設 11-1

建築基準法第38条
認定等

(昭和50年)

福島県(東京電力)

| | |
|------|------|
| 省庁名 | 建設省 |
| 移管年度 | 昭和60 |
| 箱番号 | // |
| 件名番号 | /4/ |
| 備考 | |

* 受人係 仮綴済

記

1. 建築物の名称

福島第二原子力発電所第1号機原子炉建屋

2. 建築物の主要用途

発電所

3. 建築主の住所及び氏名

~~住 所~~ 東京都千代田区内幸町1丁目1番5号

~~名 称~~ 東京電力株式会社

~~氏 名~~ 取締役社長 水野久男

〒100-8111

4. 設計者の氏名

名 称 東京電力株式会社福島第二原子力建設所

所属氏名



5. 工事監理者

東京電力株式会社福島第二原子力建設所

建築課長 藤田 忠

1級建築士登録第37260号



6 工事施工者

鹿島建設株式会社(予定)

7 建築敷地

- (1) 位 置 福島県双葉郡楡葉町大字波倉字小浜作
- (2) 敷地面積 1,546,748.6m²
- (3) 地域・地区 無指定

8 規模の概要

- (1) 建築面積 5,683m²
- (2) 延面積 23,587m²
- (3) 軒の高さ 56.50m
- (4) 最高部の高さ 57.48m
- (5) 階 数 地下2階,地上6階

9 構造の概要

(1) 基礎構造

(i) 地盤基礎形式

砂質泥岩上に厚さ5.5mの鉄筋コンクリートのベタ基礎を置く。

- (ii) 接地圧 長期最大 45.5t/m²
- 短期最大 96.6t/m²

(2) 主体構造

- (i) 骨組形式 ラーメン付壁式構造
- (ii) 耐震壁 放射線遮蔽壁を兼ねた厚さ30cm~190cmの鉄筋コンクリート造の耐震壁が各階に充分設置されている。
- (iii) 柱、梁断面及び使用材料 鉄筋コンクリート矩形断面および鉄骨鉄筋コンクリート矩形断面(屋根部は鉄骨造)
- コンクリートFc=225Kg/cm²鉄筋SD35鋼材SS41およびSM41
- (iv) 床形式 鉄筋コンクリート造
- (v) 非耐力壁 鉄筋コンクリート造
- (vi) 構造上の特色 地震時水平力は全て耐震壁に負担させる。ラーメンの地震時応力は水平変位を入力し算出する。

10 応力の算定方法

ラーメンの応力解析は、~~「FANSY」~~地震時水平荷重配分は、~~「FASE」~~次格納容器の周壁および基礎底版の応力解析は「~~NASTRAN~~」により電算機を用いた。(各使用プログラムはセンテュリー・リサーチ・センター所有のものである)

記

1. 建築物の名称

福島第二原子力発電所第1号機原子炉建屋

2. 建築物の主要用途

発電所

3. 建築主の住所および氏名

住所 東京都千代田区内幸町1丁目1番3号

名称 東京電力株式会社

氏名 取締役社長 水野久男

(03-501-8111)

4. 設計者の氏名

名称 東京電力株式会社福島第二原子力建設所

所属氏名



建築士登録番号



5. 工事監理者

東京電力株式会社福島第二原子力建設所



6 工事施工者

鹿島建設株式会社(予定)

7 建築敷地

- (1) 位置 福島県双葉郡楡葉町大字波倉字小浜作
- (2) 敷地面積 1,546,748.6㎡
- (3) 地域・地区 無指定

8 規模の概要

- (1) 建築面積 5,683㎡
- (2) 延面積 23,587㎡
- (3) 軒の高さ 56.50m
- (4) 最高部の高さ 57.48m
- (5) 階数 地下2階,地上6階

9 構造の概要

(1) 基礎構造

(i) 地業基礎形式

砂質泥岩上に厚さ5.5mの鉄筋コンクリートのベタ基礎を置く。

- (ii) 接地圧 長期最大 45.5t/㎡
- 短期最大 96.6t/㎡

(2) 主体構造

(i) 骨組形式

ラーメン付壁式構造

(ii) 耐震壁

放射線遮蔽壁を兼ねた厚さ

30cm~190cmの鉄筋コンクリート

の耐震壁が各階に充分設置されている。

(iii) 柱・梁断面及び使用材料

鉄筋コンクリート矩形断面および鉄骨鉄筋コンクリート矩形断面(屋根部は鉄骨造)

コンクリートFc=225kg/cm²鉄筋SD35

鋼材SS41およびSM41

(iv) 床形式

鉄筋コンクリート造

(v) 非耐力壁

鉄筋コンクリート造

(vi) 構造上の特色

地震時水平力は全て耐震壁に負担させる。ラーメンの地震時応力は水平変位を入力し算出する。

10 応力の算定方法


ラーメンの応力解析は、**「TANSY」**。地震時水平荷重配分は、**「FASE」**。一次格納容器の周壁および基礎底版の応力解析は**「NASTRAN」**により電算機を用いた。(各使用プログラムはセンチユリー・リサーチ・センター所有のものである)

1. 審査結果

東京電力第二原子力発電所第1号機原子炉建屋は、基礎、建物の形状、構造形式等の各項目について検討の結果、構造耐力上支障ないものと判断される。

2. 建物概要

建物名称 : 福島第二原子力発電所第1号機原子炉建屋
用途 : 発電所
建設地 : 福島県双葉郡楢葉町および富岡町
建築主 : 東京電力株式会社 取締役社長、水野久男
設計監理者 : 東京電力株式会社
設計者 : 東京電力株式会社

施工者 : 
施工監理者 : 東京電力株式会社

敷地面積 : 約 130 万 m^2
建築面積 : 約 5,683 m^2
延床面積 : 約 23,587 m^2
階数 : 地上6階, 地下2階
高さ : 最寄高さ GL + 57.48 m
軒の高さ GL + 56.50 m